

男女平等社会づくりに向けた県民意識調査結果【概要】

平成 28 年 3 月

男女が共に参画し、多様な生き方が選択できる社会の実現に向けた県のさまざまな施策の充実と、次期「新潟県男女共同参画計画（男女平等推進プラン）」の策定に活用するため、県民意識調査を実施しました。

調査概要

- 調査対象：新潟県に在住する満 20 歳以上の男女 2,000 人
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査期間：平成 27 年 8 月 20 日～8 月 31 日（9 月 14 日到着分まで集計）
- 回収結果：994 人（女性 528 人 男性 459 人 無回答 7 人）有効回答率 49.7%

※結果についての詳細は、男女平等社会推進課のホームページ（URL：<http://www.pref.niigata.lg.jp/danjobyodo/>）に掲載してあります。



新潟県

新潟県県民生活・環境部 男女平等社会推進課

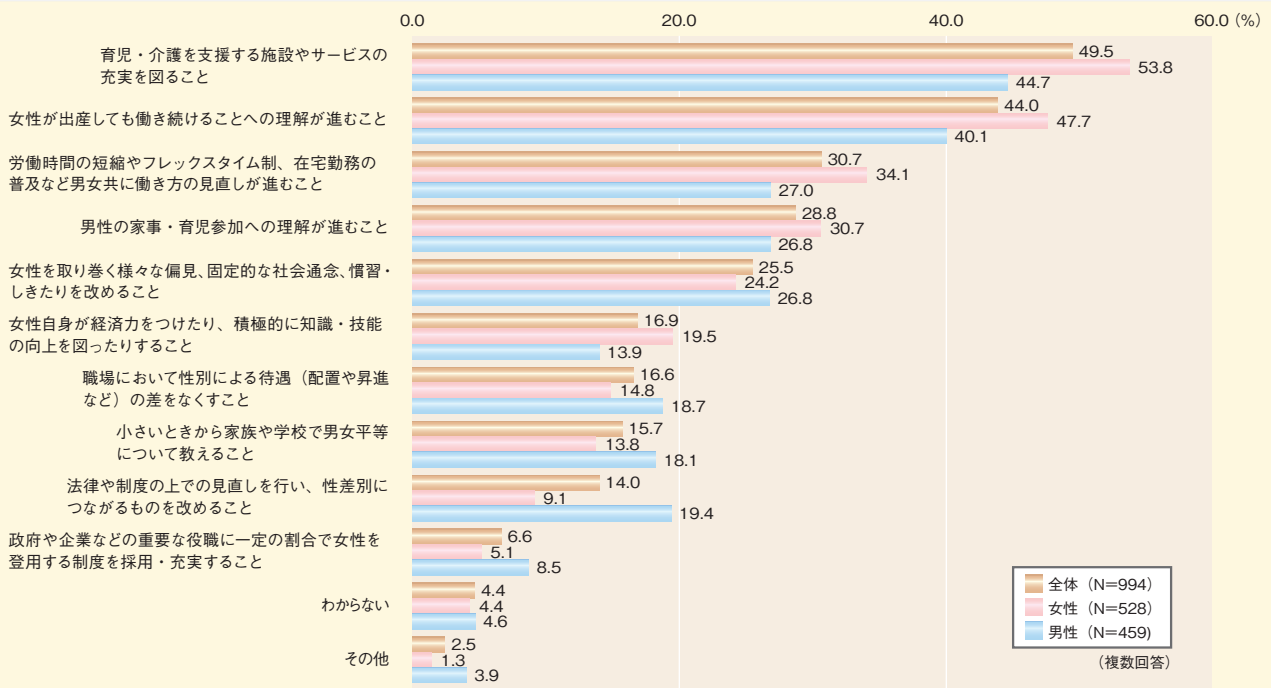
〒950-8570 新潟市中央区新光町 4 番地 1

TEL: 025-280-5142 FAX: 025-280-5166

結果の概要

男女共同参画社会の実現のために必要なこと（特に重要と思うもの3つまで選択）

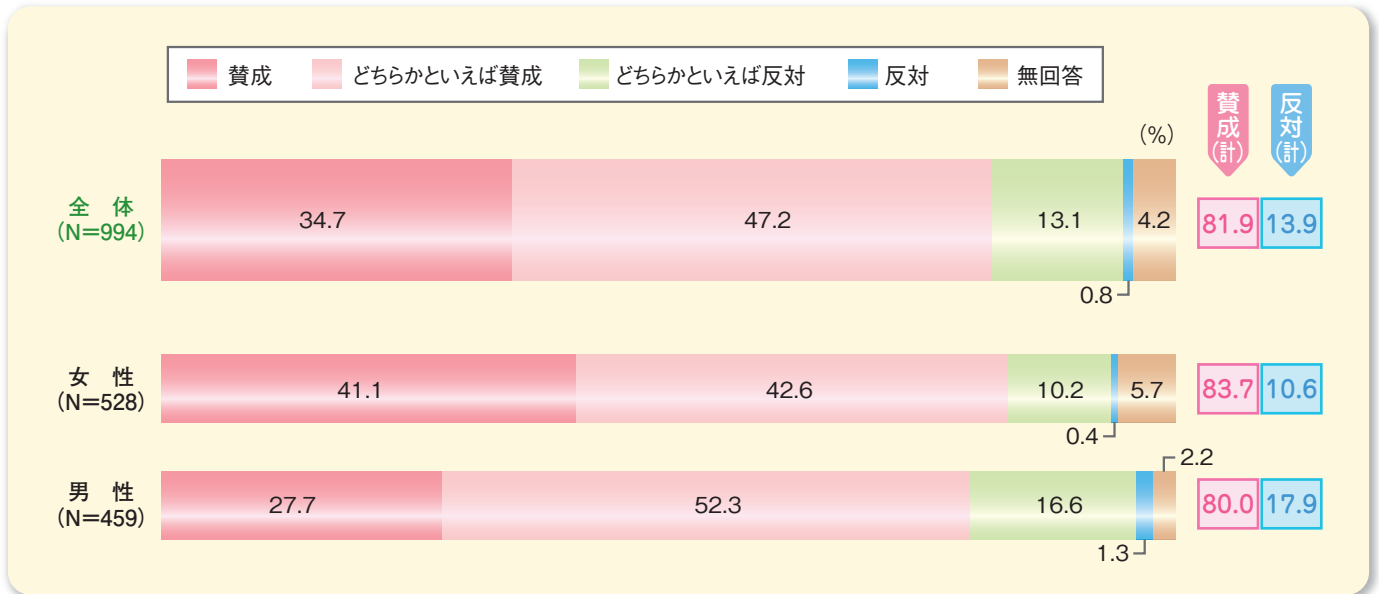
男女共に、出産・育児・介護と仕事の両立環境の整備に関する項目が重要と考える人が多い。



家庭における男女間の家事等の負担に関する理想と現実

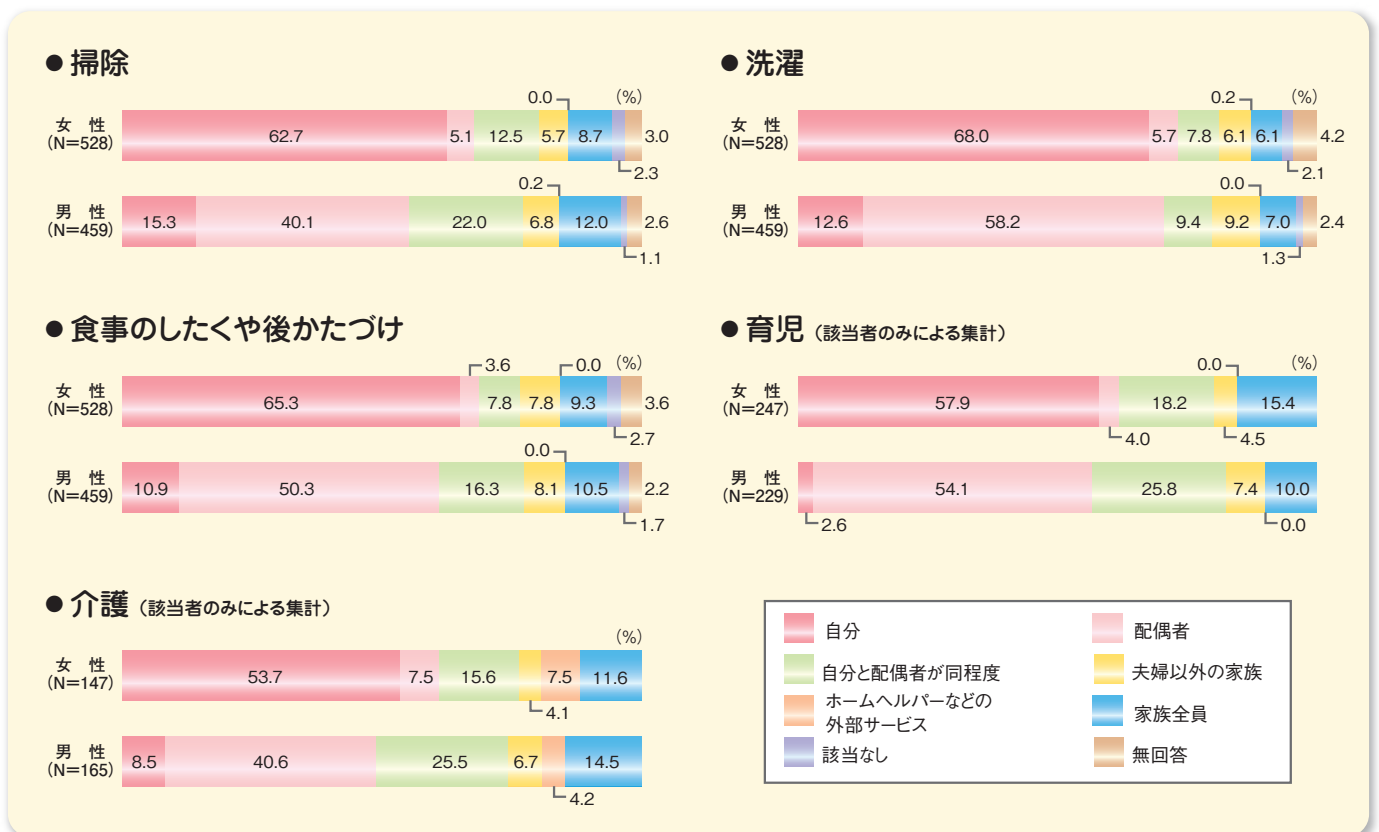
理想（「夫も平等に家事を負担すべきである」という考え方について）

男女共に、約8割の人が「賛成」している。



現実（家庭における家事等の担当者）

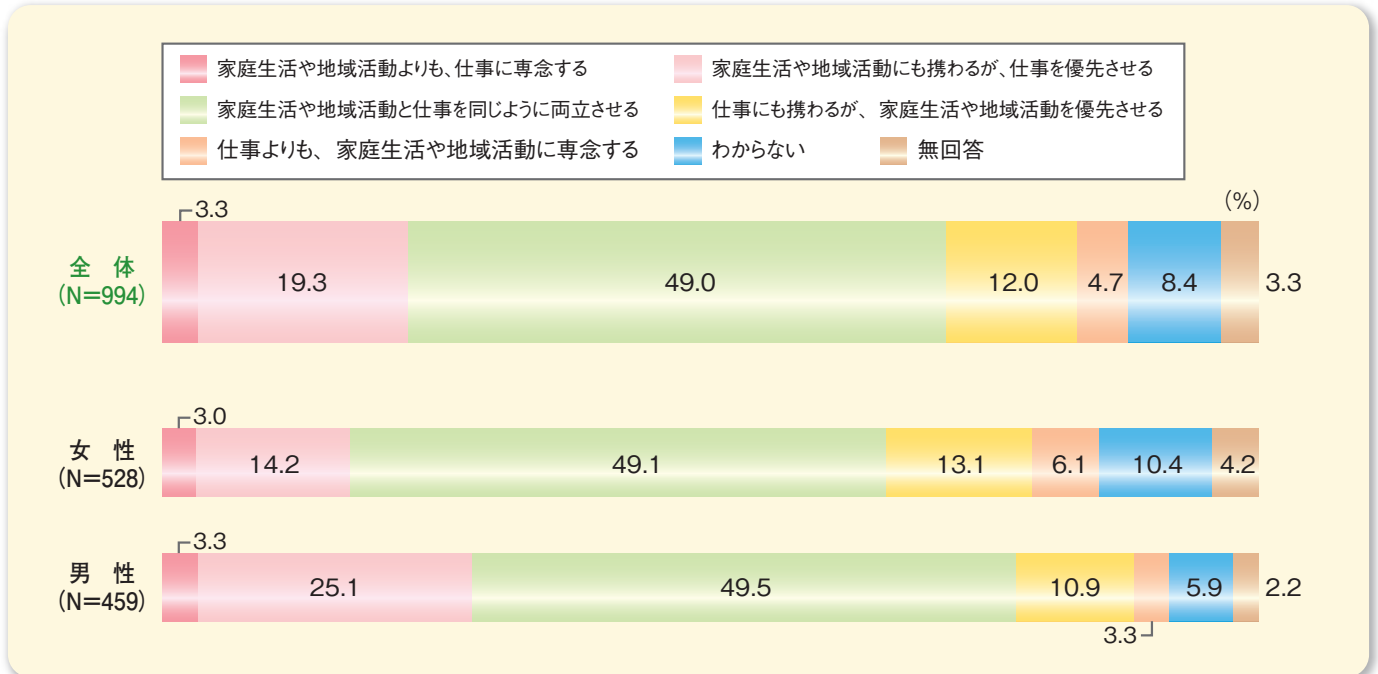
いずれの家事項目も、女性が主に担っている。



仕事と家庭生活や地域活動のバランスに関する理想と現実

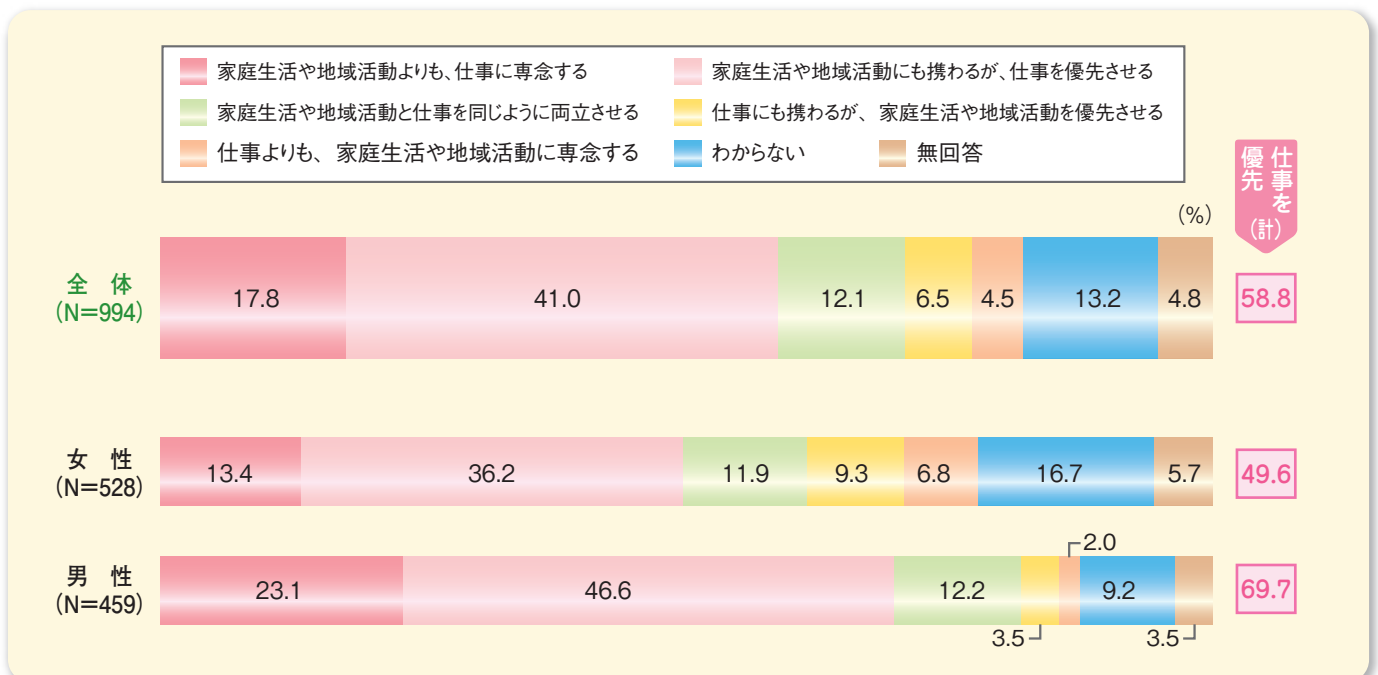
理想

男女共に、約5割の人が家庭生活や地域活動と仕事を同じように両立させたいと考えている。



現実

全体では、約6割の人が仕事を優先している。特に、男性では約7割が仕事を優先している。

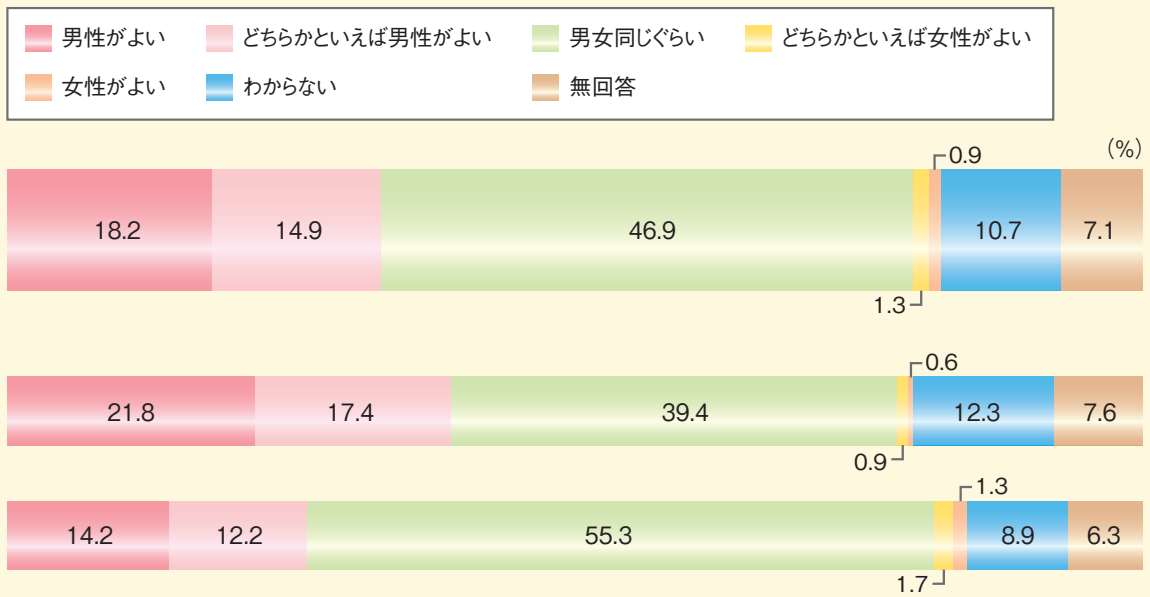


慣行・地域活動における意識と実態

PTA会長

「PTA会長」については、「男女同じぐらいがよい」と5割近くの人と考えているが、実態では、男性が担当することが多い。

意識（男女どちらが担当した方がよいか）



実態（男女どちらが担当することが多いか）

